

牛を愛するあなたのもとへ

発行所：社団法人 **ジェネティクス北海道**

発行人／渡辺浩一

平成21年7月15日号

# サイア Sire

Vol.377

7  
月号

## CONTENTS

- 2 北海道各地で開催された  
春のショウから
- 5 ジェノミック評価法について
- 8 夏季特別企画  
GHジャッジングコンテスト
- 10 性選別精液で後継牛対策  
～授精師さんの奮闘に密着～
- 12 ジェネティクス北海道  
黒毛和種雄牛育種価一覧表
- 13 種雄牛紹介  
JP3H53112 ライト
- 14 北海道上川郡清水町中熊牛  
(有) 田中牧場を訪問して
- 16 ショウニュース ジェスロの娘牛が  
春の北海道最大のショウで大活躍!!



北海道各地で開催された

# 春のショウから

GH種雄牛娘牛が大活躍!!

今年も4月中旬より北海道各地で春のショウが開催されました。そのなかからGH種雄牛の娘牛にスポットライトを当てて紹介いたします。

## 上川スプリングショウ

上川スプリングショウでは第3部(育成ジュニアクラス)でブルーブラッドの娘牛「ティーユー ウォーカーニキータ」(美瑛町 上田雅樹氏)が1位となり、第1部(ジュニアリードマンクラス)でもブルーブラッドの娘牛「デイベロツプ ビュレット ブラッド」(美瑛町 稲川さとみ氏)が1位となりました。



## 後志B&Wショウ

後志B&Wショウの未經産準最高位賞はジェスロの娘牛「ニセコヌプリ セブンスター タバサ」(ニセコ町 高橋守氏)が獲得しました。



## 根室B&Wショウ

根室B&Wショウではジェスロの娘牛がシニア&グランドチャンピオンおよび乳器最高位賞を獲得しました。この牛は別海町 安部克寿氏が出品した「マウントエース ロイレーン カイト」といい5歳以上クラスで1位・ベストアダーを得たのちの栄冠でした。



## 石狩スプリングショウ

石狩スプリングショウでは第5部(15~18ヶ月未満クラス)で**ジエスロ**の娘牛「ミッドフィールド ジエスロ リズ」(江別市 中田和孝氏)が1位となり、第12部(3歳シニアクラス)でも**ジエスロ**の娘牛「エルムレーン クリスタル ジエスロ ペギー」(恵庭市 (有)福屋牧場)が1位・ベストアダーを獲得しました。また、第9部(2歳ジュニアクラス)では江別市 岩田淳一氏が出品した**ビツグ ガイ**の娘牛が3位となり、第14部(成牛クラス)では**ラモン**の娘牛(恵庭市 水本春雄氏)が2位に入賞しました。



## 十勝B&Wショウ

十勝B&Wショウでは第3部(12~15ヶ月未満クラス)で**バレット**の娘牛「TMF バレット レデイカーメイト」(清水町(有)田中牧場)が1位となりその後リザーブジュニアチャンピオンに選出されました。第1部(9ヶ月未満クラス)では**ブルーブラッド**の娘牛「TMF ブルーヒーロー クイーン カルラ」(清水町(有)田中牧場)が5位に入賞しました。また第7部(ジュニアスプリングカップ)の1位も芽室町 鈴木進氏が出品**ブルーブラッド**の娘牛でした。





## 北海道B&Wショウ

春の北海道における最大規模の北海道B&Wショウは5月30～31日音更町で267頭の出品を得て開催されました。このショウのフィナーレを飾るチャンピオン決定に第13部(5歳・成牛クラス)を制した**ジエスロ**の娘牛「マウントエース ロイレーン カイト」(別海町 安部 克寿氏)が出場しました。彼女はまず4歳級以上で争われるシニアチャンピオンを獲得し、その後本ショウの最高峰であるグランドチャンピオンに選出されました。

また**ジエスロ**の娘牛では第4部(15～18ヶ月未満クラス)で「ミッドフィールド ジエスロ リズ」(江別市中田和孝氏)が3位に入賞、第11部(3歳シニアクラス)でも「エルムレーン クリスタル ジエスロ ペギー」(恵庭市(有)福屋牧場)が4位に入賞しました。

第3部(12～15ヶ月未満クラス)では**バレット**の娘牛「TMF バレット レデイ カーメイト」(清水町(有)田中牧場)が4位となりました。

第7部(ジュニアカップ)の3位から5位までは**ブルーブラッド**の娘牛たちが入賞しました。

第16部のジュニアゲッツオブサイアークラスには**ブルーブラッド**の娘牛が5組出品され、上位4位までを独占しました。1位となったのは「カチノー ロイヤルミルク デラツクス ET」(帯広市 佐々木 駿氏)と「J リード LL ゴールド ブラッド ET」(豊頃町(農) Jリード)の組で(写真①)、2位は「スミーテール ロクシー ブルーブラッド」(芽室町 鈴木 進氏)と「スミーテール ブルー ウオツカ ET」(帯広市 吉田 隼人氏)の組でした(写真②)。

第17部のシニアゲッツオブサイアークラスの1位は**ジエスロ**の娘牛たちが獲得しました。メンバーはグランドチャンピオンを獲得した「マウントエース ロイレーン カイト」(別海町 安部 克寿氏)と「グラスラン ジエスロ ラグエレ」(帯広市 野原 幸治氏)でした(写真③)。



左から  
カチノー ロイヤルミルク デラツクス ET  
J リード LL ゴールド ブラッド ET



左から  
スミーテール ロクシー ブルーブラッド  
スミーテール ブルー ウオツカ ET



左から  
マウントエース ロイレーン カイト  
グラスラン ジエスロ ラグエレ

なお、マウントエース ロイレーン カイトの所有者である別海町 安部克寿さんには、本団の家畜改良顕彰要領に基づき賞状および記念品を贈呈しました。





# ジェノミック評価法について

帯広畜産大学・畜産生命科学研究部門、家畜生産科学分野 助教 増田 豊

## 乳牛育種の新時代の幕開け

1月下旬、米国で世界に先駆けて乳用牛のジェノミック評価値が公表されました。

ジェノミック評価とは、各個体のゲノム(DNA)を直接検査し、その違いに基づいて遺伝的能力を推定する方法です。言い換えれば、DNA鑑定によって高能力の個体を発見しようという試みです。そう聞くと、さぞかし高精度な評価値が得られると期待する方も多いでしょう。あるいは、DNA検査だけで種雄牛を選抜できるなら、コストと時間のかかる後代検定を廃止すべきだと思ってしまうかもしれません。残念ながら、現状のジェノミック評価の信頼性は、後代検定よりもずっと低いのです。しかも、この評価値を計算するには、従来の遺伝評価値(EBV)が必要であり、後代検定の代替にはなりません。とはいえ、この評価法は今後の主流になると目されており、特にヤングサイアの予備選抜に威力を発揮します。

本稿では、ジェノミック評価の現状から原理、メリット、問題点までを簡単にご紹介します。

## ジェノミック評価の現状

現時点での採用は米国ですが、カナダは今年8月の公式採用を発表しています。

世界を見回すと、欧米を中心に10か国以上で採用に向けた動きが進んでいます(表1)。

表1

近い将来、遺伝評価にゲノム情報を含めることを表明している国
アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランド、オーストリア、フランス、ドイツ、スペイン、ポーランド、イスラエル
ゲノム評価への準備を整え、実用化を目指している国
日本、オランダ、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、スイス、イタリア、ノルウェー、イギリス

※インターブル加盟国へのアンケートより集計

いち早く採用を決めた米国では、泌乳・体型・繁殖性などにおいてジェノミック評価値を算出しています。ジェノミック評価の主目的はヤング

サイアの予備選抜であり、AI事業体によって利用されています。後述するように、EBVさえ求まっていればジェノミック評価することができます。そのため、遺伝子が特定されているかどうかは、全く問題になりません。

## ジェノミック評価の原理

ウシ個体のDNAには微妙な個体差があります。この個体差は多型と呼ばれ、最近では一塩基多型(SNP; スニップ)と呼ばれるタイプの多型に注目しています。多型の一部は遺伝能力の高低と関連していますが、そのほとんどは能力と無関係です。ジェノミック評価で実施するDNA検査は、遺伝子の優劣を調べるわけではなく、遺伝子とは直接関係のない部位(SNP)を調査しています。つまり、DNA検査の結果だけ見ても、能力を評価することは不可能なのです。

しかたがないので、そのDNA型と従来のEBVを結びつけて、「能力の高い個体は、どのタイプのDNA型を持つのか」の対応を推測することになります(ステップ1)。この例では、DNA型にAをもつ個体ほどEBVが高くなる傾向があり、

### ステップ1：DNA型と遺伝的能力の対応をみる

検定済み種雄牛	DNAの個体差(ゲノム情報)	DNA型	従来のEBV
1	...ATCAGTC... ...ATCAGTC...	A - A	+115
2	...ATCAGTC... ...ATCCGTC...	A - C	+70
3	...ATCCGTC... ...ATCAGTC...	A - C	+60
4	...ATCCGTC... ...ATCCGTC...	C - C	+12
5	...ATCCGTC... ...ATCCGTC...	C - C	+10



対応表：Aを1個もてば、おおよそ+60  
Cを1個もてば、おおよそ+5



DNA型と能力の対応表を作ることができます。この対応さえ分かれば、あとはヤングサイアや雌牛のDNA型を検査し、対応表から能力を推測することができます(ステップ2)。このようにして計算した数字が、ジェノミック評価値です。

**ステップ2：DNA型から能力を推測する**

ヤングサイア	DNAの個体差 (ゲノム情報)	DNA型	ジェノミック 評価値
X	...ATCAGTC... ...ATCAGTC...	A - A	+120
Y	...ATCAGTC... ...ATCCGTC...	A - C	+65
Z	...ATCCGTC... ...ATCAGTC...	C - C	+10

**ジェノミック評価の問題点**

ジェノミック評価の成否は、正確な対応表を作れるかどうかにかかっています。

上の例では運良くDNA型と遺伝能力との関連が見つかり、妥当な対応表を作成できました。

ところが実際には、このような都合の良い関連は多くありません。現行の方法ではDNA上の約4万ヶ所を調査するので、中には少数ながら関連をもつものが見つかるかもしれません。

しかし仮に発見できても、実は遺伝子とは無関係で、たまたま関連があるように見えた可能性もあります。さらには、DNAサンプルを得た個体数が少ない場合、その対応表は不正確になることが知られています。ゆえに、実際に作成できる対応表は不完全なことが多く、その表から計算されたジェノミック評価値の精度も高くはなりません。

一方、後代検定による能力評価は十分に正確です。そこで、ジェノミック評価の信頼性を高めるには、従来のEBVと結合して一種の総合育種価(ジェノミック育種価;GEBV)を計算すればよい、となります。米国が発表した評価値も、GEBVに相当する数値です。ただ、GEBVを採用するにしても、どのような比率でジェノミック評価値とEBVを合成すれば良いか、という問題は残ります。

場合によっては、逆に評価値の精度を下げてしまうかもしれません。実際に、そのようなケースがカナダで見つかりました。

カナダは、米国と同時期にジェノミック評価を公式採用する予定でしたが、直前になって採用を

延期しました。公式リリースによると、ヤングサイア評価値の安定性と信頼性を再確認する必要がある、というのがその理由です。

具体的に、体型形質の一部などでジェノミック評価値の精度がEBVよりも低くなったことが報告されています。カナダは、本年8月にジェノミック評価を公式に採用すると告知していますが、状況を注視する必要があるでしょう。

**歓迎すべきメリット**

ジェノミック評価を利用することで、従来の後代検定では正確に遺伝評価できなかった個体(特にヤングサイア、全きょうだい、雌牛)に関して、より高精度な評価値が得られます。

逆に、検定済み種雄牛のように後代検定で十分正確な評価ができていれば、ジェノミック評価による改善は見られません。

現状のジェノミック評価値の信頼度は、PA(両親平均)以上、後代検定以下です。後代検定を置き換えるには不足ですが、特にヤングサイアの予備選抜には十分有効だといえます(表2)。

	遺伝率	旧来のPA	ジェノミックPA
乳量	0.30	0.28	0.49
乳蛋白量	0.30	0.27	0.47
体細胞スコア	0.12	0.17	0.27
決定得点	0.29	0.23	0.36
妊娠率	0.04	0.20	0.29

※米国において、2003年に生まれたヤングサイアに関するPAと後の後代検定によるEBVとの相関の2乗

予備選抜がうまく働けば、後代検定にかける雄牛も少なく済み、今まで以上に能力の高い種雄牛を低コストで作出することが可能になります。

また、全きょうだいの能力差を識別することができます。さらに、ジェノミック評価はブルダムの選定にも有用です。雌牛のDNA型を判定するコスト(現在のところ1頭あたり3万円程度の実費)を負担すれば、従来よりも高精度な遺伝評価が可能になります。これにより、雌牛に強い選抜をかけることができるため、母由来の遺伝的改良量を高めることが可能です。

もうひとつのメリットは、検定済み種雄牛であっても、遺伝率の低い形質(長命性、繁殖性、耐病性、一部の体型形質など)に関して評価値の信頼度が



高まり、改良効率を若干ながら改善することです。米国が未熟な技術と知りつつ実施に踏み切ったのは、これらのメリットを期待したためでしょう。

### ジェノミック評価のこれから

今後、ジェノミック評価は、より洗練された方法となって世界各国で公式に採用されてゆくことは確実です。わが国でも、主要な国内種雄牛についてDNA検査を開始し、実用化に向けた研究が進んでいます。しかし、カナダ以外に公式採用の時期を明言している国はありません。しばらくは「持たざる国」のほうが多いようです。

ジェノミック評価には問題が山積していますが、メリットもあります。一部の利用者は、そのメリットに期待して、北米から精液を輸入したいと考えるでしょう。しかし、これは期待はずれに終わる公算が高いといえます。たとえば米国で公表されたGEBVは、その国内だけで有効なのであって、米国以外でその能力が発揮できる保証がありません。例を挙げれば、米国で大きくプラスに働くDNA型があったとしても、別の国ではゼロまたはマイナスに作用する可能性があります。ジェノミック評価ではDNA型と国内評価値を直接結びつけるので、この問題がより深

刻になるおそれがあるのです。さらに、ジェノミック評価値の信頼性は十分に確保されておらず、米国内にも様子見の雰囲気があります。

ジェノミック評価値(GEBV)を国間で比較できるようにしようという動きがあります。

ちょうど、インターブルの実施している多国間評価法(MACE)のゲノム版であり、GMACEと名づけられました。しかし、GMACEの方法論は確立されておらず、まだ初期の研究段階に留まっています。

インターブルによると、現行のMACEは今後も続けるとのことですが、ここでは(ゲノム情報を使わない)旧来のEBVのみを評価対象とすることが決まっています。現在の枠組みは、今後しばらく続くことでしょう。

ジェノミック評価は、後代検定が適正に実施されている状況で、その付加情報を提供するものです。たとえジェノミック評価が主流になっても、従来のEBVの重要性は変わらないどころか、むしろ増すことになるでしょう。

ゲノムの時代になっても、後代検定と遺伝評価のシステムを高いレベルで維持することが必要なのです。

## 牛声 和 楽 第一話

牛は人に何を話し掛けようとしているのか。あのうつろな目で?“乳が張っているよ”“早く搾ってよ”“うまいものが食いたいな”“背中がかゆいんだよ”“うるさいやつが一緒に寝不足なのよ”等々、言葉には出さずとも酪農家の方々は牛の声をキャッチできるのでしょね。天塩にかけ、愛情たっぷりに育てた宝物であり、生活を共にして、家計を助けてくれているんだから、雑な扱いをすると罰が当たりそう。子供の頃、玉子なんて運動会にしか当たらず、ましてや牛肉のビフテキなんて見たこともない程、どこの家も大半が貧乏・耐乏生活であった記憶がある。今、スーパーに行けば、牛肉より魚類の方が高いし、玉子や牛乳は超安値であり、食生活が一変した。それでも国産黒毛和牛は、まだまだ高値の華、輸入牛で我慢の夕食

です。ニューヨーク帰りの知人が毎日「わらじのような」大きさの牛肉をだされ、ギブアップしたことを聞かされ、やはり日本人は草食人種なのかと考える昨今です。40歳になる私の長女が、幼い頃から牛乳が嫌いで参っていたことを思い出す。先生とも相談し、近くの牛舎にピクニックに行ったとき、子供は真剣に“チチ搾り”を見ていた。

2年生の時である。そして帰りに搾りたての牛乳を一口いただいた。「あれ?学校のいつもの牛乳と味が違う」と声を発した。それ以降、何の変化なのか、ガブガブと牛乳を飲むようになった。お陰で健康に育ち、孫も2人産んでくれ、母乳で育てた。牛さまさまである。

(コラムニスト 舞 愛一)



# 夏季特別企画 GHジャツジング

## 未経産クラス



※未経産牛の父牛はJP3H53008 ブルーブラッド

- 応募方法** 上の未経産牛、経産牛を上位から順に並び替えてその解答を右ページの応募用紙に必要事項を明記の上、FAXか郵便にてご応募願います。なお記入漏れの無いようにハッキリとご記入下さい。特にFAXで文字が薄く内容がハッキリしない場合、応募が無効になる場合がございます。
- 締切** 平成21年8月16日の消印有効
- 宛先** 〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F  
(社)ジェネティクス北海道 サシアNo.377 ジャツジングコンテスト係  
FAX:011-242-9651
- 結果発表** 未経産、経産クラスとも序列は投票結果により決定させていただきます。  
サイア No.378 に上位9名を掲載いたします。
- 賞品**
  - デジタルビデオカメラ 3名
  - DVDプレイヤー 3名
  - 折りたたみ式自転車 3名
  - GHオリジナルグッズ 他、上位50名(当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。)\*正解者が多い場合は抽選により決定させていただきます。



# コンテスト



## 経産クラス



切-り-取-り-線

## ジャッジングコンテスト応募用紙

FAXまたは郵便にて  
応募願います。

**FAX:011-242-9651**

### 未経産クラス

1位	2位	3位	4位

### 経産クラス

1位	2位	3位	4位

氏名： \_\_\_\_\_

住所： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_



# 性選別精液で後継牛対策 ～授精師さんの奮闘に密着～

岩手県に今年創立60周年を迎える酪農専門の広域農協、岩手中央酪農業協同組合(略称:岩中酪)があります。

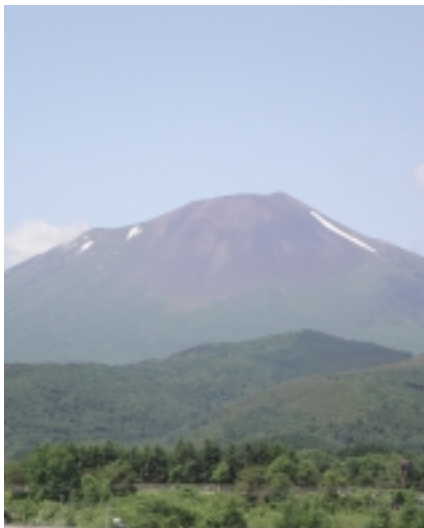
ここで昨年3月より性選別精液の利用に対して奨励を行う事業がスタートしました。

現在この事業を軌道に乗せるため奮闘している授精師さんと、経営戦略として事業を大いに利用している牧場を取材させていただいたので、ご紹介いたします。

## ◎岩中酪県北事業所のあるところ

今回お邪魔した岩手県八幡平市は南西部に威厳高い存在感を示す岩手山(別名:巖鷲山<sup>がんじゅさん</sup>)を、また東部には左右対称の美しい姫神山を望み、清流のもたらす豊かな土地で畜産と稲作を行っています。

市内には豊かな温泉も湧き出ており、スキー場やゴルフ場を備え四季を通して県内外からのお客さんと賑わっています。



巖鷲山という名前は、むかし大鷲が生息していたことが由来ですが、現在でも雪解けに伴って山肌を羽ばたく「鷲の雪渓」が姿を現し、農作業を始める春の訪れを告げています。

岩手県出身の詩人・童話作家として有名な宮沢賢治もこの山を愛していました。植物や鉱石への好奇心をかきたて幾度となく登山し、彼の文学作品の舞台にも多く取り上げられています。

## ◎事業の内容を教えてください

スタートは地域の乳牛雌頭数の減少でした。飼料価格の高騰や生産調整によって乳質・繁殖の悪い牛を淘汰した結果、総頭数が年々減少し



乳量も伸び悩んでいました。農家の生産意欲も下がり、中には離農する農家もありました。

そんな折、「ここで盛り返していこう!」という声が組合全体であがり、「効率的に雌子牛を生産することで生産基盤の確保と酪農経営の安定を図ること」を目的として、性選別精液の利用に奨励金を交付しようではないかと、この事業が発足したのです。

しかし性選別精液はまだまだ新しい技術で、認知度も高くはありません。当初は1頭初回授精のみ5,000円の助成でした。酪農情勢もあまり良くなかったため、なかなか浸透しませんでした。そこで助成を10,000円に引き上げたところ授精師からも薦めやすくなったこともあり利用者も大幅に増え、現在は三分の一以上の組合員が利用しています。



## ◎授精師さんの取り組んでいる事は

より多くの生産者に利用してもらうため、たとえF1の授精依頼であっても事業内容を説明し、発情の状態が良好であれば1回目のAIには性選別精液(ホルスタイン)を薦めています。

受胎率向上のために注入器はアルコール綿で丁寧に消毒し、ビニールカバーを装着しています。

明瞭な発情行動を示す牛への交配が基本ですが、農家の要望があれば時には発情が弱くても授精する事もあります。

また、注入部位(子宮角または子宮体)による受胎の差を検討するために現在データを収集中で、受胎率向上のために試行錯誤を重ねています。

## ◎農家さんの反応はどうか

この事業がスタートして1年以上が経過しておりますが、農家の約10~20%が積極的に利用しています。リピーターとなるのは受胎率が

良くてうまく回転している牧場ですが、未経産の後継牛がない牧場ではどうしても経産牛に授精するため受胎率が落ちてしまいます。

受胎の悪かった農家の反応はマチマチですが、ただ「性選別精液は受胎しない」の悪印象で使わなくなるのではなく、農家の方も自分の牛群の繁殖成績を把握した上で取り組んで欲しいですね。

### ○受胎率・産子の雌雄比率は

現在の受胎成績は未経産で44.3% (35/79)、経産で33.3% (40/120)、延38% (75/199)です。(20.1.1～20.12.31の授精分統計、一般精液では未経産・経産の区別なく再発・追注含め、延48%)

生まれた産子は雌33頭、雄2頭で雌率が94.2%です。しかし雄の産まれた農家も授精の時点で「100%ではない」と話して理解いただいているので、継続して利用して下さっています。

### ○授精師としてのやりがいとは

交配した牛が改良され、搾乳牛になって能力(検定成績など)が高かった時や、新人の時(8年前)に授精した牛が現在も牛群で活躍している時に感じます。さらに受胎率を向上させるため、授精師間の連携を取りながら技術向上を目指しています。



左から、奥さまの由美さん、義朗さん、授精師の新田さん、息子の康さん

### ○利用者の声

八幡平市で酪農を営む斉藤義朗牧場を訪ねました。成牛35頭(乾乳

含む)、育成牛25頭を飼養しており(牛群平均M7,500kg、F3.7%、P8.7%)息子さんが就農したのでこれから搾乳牛を40頭に増頭する予定です。

### ○成牛と比較して育成牛が多いですね

初妊牛を8頭導入したためですが、性選別精液由来の娘が分娩し始めたら今後は導入も必要なくなるだろう。性選別精液はこの事業が始まる以前より利用していて、キツカケはやはり雌子牛が欲しかったから。以前は未経産には黒毛を交配しており、経産の分娩はなぜか雄が多いため後継牛が残らないのが難点でした。現在、未経産には2回目まで性選別精液を授精し、経産にも数頭授精しています。(※事業では1回目のみ助成、またジェネティクス北海道は未経産への交配を推奨します)

難産の心配もほとんどなく、未経産は管理次第だと思います。受胎率に関しても、問題はありません。これからも続々と生まれてくる雌子牛は今のところ保留しますが、来春ごろからは個体販売も視野に入れながら、搾りづらい牛の淘汰・更新が出来るようになります。理想は経営に弾力性を持たせることですね。

夏季は育成牛を牧野に預けていますが、その子たちが帰ってきたら牛舎もいっぱいになってしまいます。育成施設も増やさないといけないな…。

### ○私たちAI事業者 に対する要望は

性選別精液価格がもう少し安ければもっと使いやすいし周りの農家にも浸透するのでは? 現在は授精師さん

と相談しながら血統と体型(肢・尻・乳房)を重視して交配していますが、成績上位の種雄牛から生産を多く

して欲しい。また長命で連産性の高い牛を望んでいます。

### ◎お礼の言葉

岩中酪の新田授精師、業務多忙のなかお時間を割いて頂き有難うございました。斉藤牧場さん、梅雨入り直前の数日間の晴れ間に急ピッチで牧草を収穫している大変お忙しいなか、快く取材に応じて下さり、本当に有難うございました。

今年度、性選別機を増やして生産本数アップの予定です。農家さんや授精師さん、それぞれの立場のご要望に沿えるよう、種牛のメニューも豊富に揃えられるよう努力して参りますので今後ともご利用よろしくお願いいたします!!



### ◎編集後記

私が岩手県を去った翌日、盛岡市内で「チャグチャグ馬子」のお祭が行われたそうです。これからの季節は全国各地で夏祭りが開催されますね。北海道内でも花火大会やビール祭が待っています!! 短い夏を存分に楽しんで、豊穣の秋を迎えたいものです。

(道央広域事業所 吉岡 勇氣)



# シエネテイクス北海道 黒毛和種種雄牛育種値一覧表

平成21年4月

※脂肪交雑基準値によるランキンングを掲載

順位	略号	名号	生年	父牛	母の父	枝肉重量		ローソ芯面積		バラの厚さ		皮下脂肪厚		歩留基準値		脂肪交雑基準値		近交係数(%)	産肉成績(頭)
						育種価(Kg)	正確度	育種価(cm <sup>2</sup> )	正確度	育種価(cm)	正確度	育種価(cm)	正確度	育種価(%)	正確度	育種価	正確度		
1	JB-24	北乃大福	H11	安福(岐阜)	谷美土井	7.918	0.974	13.276	0.969	1.332	0.963	-0.523	0.973	3.031	0.972	2.499	0.974	10.9	97
2	H黒-123	北安勝23	H13	平茂勝	安福(岐阜)	38.713	0.934	8.385	0.923	0.567	0.910	-0.787	0.932	1.730	0.930	2.272	0.934	0.0	37
8	H黒-93	北茂安93	H11	平茂勝	安福(岐阜)	67.442	0.920	1.568	0.907	1.234	0.892	-0.640	0.918	0.771	0.916	2.043	0.920	0.2	28
10	H黒-125	北勝隆25	H13	平茂勝	隆桜	70.497	0.940	6.975	0.930	0.976	0.917	-0.162	0.939	0.880	0.937	2.017	0.940	6.3	40
12	H黒-139	松糸勝39	H15	糸福(大分)	平茂勝	51.223	0.937	8.606	0.926	0.488	0.912	-0.838	0.935	1.614	0.933	2.000	0.937	0.0	41
14	H黒-80	北平安	H10	安平	菊照土井	3.174	0.994	14.280	0.993	0.772	0.992	-0.528	0.994	2.824	0.994	1.991	0.994	0.0	1,010
22	H黒-132	国牽白清	H13	飛驒白清	茂勝	57.769	0.936	11.578	0.925	0.807	0.912	-0.570	0.935	1.917	0.933	1.845	0.936	2.5	38
24	H黒-45	東龍	H6	第7糸桜	安福(岐阜)	21.981	0.984	7.541	0.981	1.015	0.977	-0.346	0.984	1.699	0.983	1.833	0.984	0.0	209
45	H黒-96	北茂勝96	H11	茂勝	茂重波	-2.160	0.935	8.438	0.924	0.487	0.911	0.156	0.934	1.343	0.932	1.638	0.935	18.8	29
46	H黒-122	北勝晴22	H13	平茂勝	安糸晴	78.190	0.929	4.526	0.917	1.094	0.903	0.211	0.927	0.173	0.925	1.628	0.929	0.2	33
47	H黒-101	北勝福1	H11	平茂勝	安福(岐阜)	33.782	0.949	6.051	0.940	0.389	0.929	-0.543	0.948	1.086	0.946	1.622	0.949	0.0	51
55	H黒-51	第2北福安	H7	安福(岐阜)	静	4.396	0.871	7.058	0.854	0.402	0.838	-0.148	0.868	1.287	0.865	1.570	0.871	0.0	12
57	H黒-127	北安菊27	H13	安平	菊照土井	-55.297	0.933	7.134	0.921	-0.325	0.908	-1.031	0.931	2.331	0.929	1.561	0.933	2.7	34
58	H黒-141	白清桜41	H16	飛驒白清	第7糸桜	-23.840	0.946	3.846	0.937	0.318	0.925	-1.257	0.945	2.133	0.943	1.542	0.946	8.8	44
60	H黒-102	北勝波2	H11	平茂勝	茂重波	54.507	0.814	3.654	0.793	0.687	0.772	-0.367	0.811	0.601	0.807	1.538	0.814	0.2	8
61	JB-7	七福神	H5	谷福土井	菊照土井	-51.475	0.902	0.827	0.885	-0.772	0.868	-0.354	0.899	0.483	0.896	1.536	0.901	0.8	21
70	H黒-85	北福栄	H10	安福(岐阜)	菊照土井	1.754	0.864	6.258	0.847	0.092	0.831	-0.418	0.861	1.196	0.858	1.487	0.863	9.4	10
71	H黒-105	北茂栄5	H12	平茂勝	安福(岐阜)	93.444	0.902	4.484	0.887	0.969	0.870	-0.256	0.900	0.323	0.897	1.482	0.902	0.0	22
74	JB-16	桜糸福	H6	糸福(大分)	晴美	10.261	0.863	3.367	0.844	0.442	0.823	-0.227	0.860	0.840	0.857	1.460	0.863	0.0	13
75	H黒-63	北安福16501	H9	安福16509	安美土井	-20.113	0.965	13.736	0.958	0.099	0.950	-1.185	0.964	3.195	0.963	1.453	0.965	6.3	70
77	H黒-148S	北安豊	H15	北国7の8	安福(岐阜)	55.814	0.892	11.065	0.876	1.161	0.858	-0.034	0.890	1.649	0.887	1.450	0.892	0.0	20
78	H黒-107	北神福2	H11	神高福	第20平茂	-7.543	0.803	5.958	0.784	0.612	0.765	-0.148	0.800	1.431	0.796	1.449	0.803	0.0	6
82	H黒-144	北花園44	H16	第1花園	紋次郎	34.611	0.957	11.770	0.949	0.826	0.939	-0.519	0.956	2.160	0.954	1.411	0.957	2.3	61
86	H黒-131	繁見	H13	安福16509	第5平茂	5.151	0.940	2.486	0.930	-0.059	0.917	-0.157	0.939	0.370	0.937	1.396	0.940	0.0	42
88	JB-25	第2茂波	H11	茂重波	菊照土井	-45.068	0.912	4.194	0.897	-0.506	0.881	-0.493	0.910	1.219	0.907	1.379	0.912	0.0	25

**JP3H53112** 個体識別番号：12032-12894 平成14年11月5日生  
REGANCREST-ALD WRIGHT ET

# レーガンクレスト アルド ライト ET<sub>TL/TV</sub>

ショウカウ“ジヨルト デージー EX94”を輩出したカウファミリーからの好乳器ブル!

ライトは2009年2月公表の全国種雄牛評価成績においてNTP第5位にランキングされている乳器・乳代効果の改良に優れたフォービツデンの息子牛です。

母ウイン ダスター VG-88(写真②)はウインチエスター娘牛で、とても若々しく乳用強健性に富み、特に乳器において前後乳房の付着が極めて強く後乳房の幅があります。

その姿は母方父牛ダスター、その先エルトン、ブラツクスターと続いていることから裏付けされています。

ファミリーを遡ると、ライトの高祖母に当たるカントトウエイ ビースター ダイム ET EX-90-GMD-DOM(写真①)は、後世に優れた乳用特質と肢蹄、背腰の強さと尻の構造そして付着強い乳器を伝

達するブラツクスターを代表する娘牛として著名でした。代表娘牛としてカントトウエイ ジヨルト デージー ET EX-94-2E-GMD-DOM(写真③)が広く知られており、1999年の2歳シニアクラスで準々オールアメリカン、2001年のアイオワ州ホルスタインショウでグラウンドチャンピオンを獲得するなどショウカウとして活躍しておりました。ベストレコードは5-05 2x 365 d M15,917 F4.3% 679 P3.1% 486と能力の高さにおいても定評がありました。多くの子孫が存在する中でダーハムによる2頭のEX娘牛、そしてこのダーハム娘牛からのシヨツテルによる娘牛アーンロ スーリン ET VG-86<CTPI +2,167第64位>(写真④)とアーンロ シーナリン ET VG-87<CTPI +2,153

第80位>(写真⑤)は現在も世界のAIセンターが注目するエリートカウです。

ライトは、ファミリーの特徴である優れた乳用強健性(+1.30)と好乳器(+1.58)を娘牛達に伝達していることが成績からも伺え、また父フォービツデンの高い泌乳能力も加わって乳量・乳蛋白量の改良に優れております。この他、体細胞スコア(+2.52)も低く搾乳性に優れております。



カントトウエイ ビースター ダイム ET



ミスダイナモ ウイン ダスター ET

- ♀ カントトウエイ ビースター ダイム ET EX-90 (♂ブラツクスター)
- ♀ カントトウエイ カビー ドリー ET EX-90 (♂カビー)
- ♀ カントトウエイ エルトン ダイス ET VG-86 (♂エルトン)
- ♀ カントトウエイ ダスター ダイナモ ET VG-89 (♂ダスター)
- ♀ ミスダイナモ ウイン ダスター ET VG-88 (♂ウインチエスター)
- ♂ JP3H53112レーガンクレストアルド ライト ET (♂フォービツデン)
- ♀ カントトウエイ ジヨルト デージー ET EX-94 (♂ジヨルト)
- ♀ アーンロ デージー リン ET EX-90 (♂ダーハム)
- ♀ アーンロ シーナ リン ET VG-87 (♂シヨツテル)
- ♀ アーンロ スー リン ET VG-86 (♂シヨツテル)
- ♀ アーンロ デージー ジェーン ET EX-93 (♂ダーハム)



カントトウエイ ジヨルト デージー ET



アーンロ スー リン ET



アーンロ シーナ リン ET



# モットーは「仲間づくり」。

## これからも進化し続けるTMF

### 北海道上川郡清水町中熊牛(有)田中牧場を訪問して

清水町は十勝支庁西部に位置し、道央と道東を結ぶ「日勝峠」の東側に位置する道東の玄関口で、十勝管内にあって酪農家戸数1位、生乳生産量2位と酪農の盛んな町です。

TMFの冠名で知られている(有)田中牧場はホルスタインのショウで数々の優秀な成績を残しており、2009年の北海道B&Wショウではジャージーの部で、シニアチャンピオン(写真)およびリザーブジュニアチャンピオンに選ばれております。また松原秀雄さんは全国各地の共進会の審査員も数多く努めております。田中牧場から輩出されたファミリーは全国各地のショウで活躍しております。現在注目されている(有)田中牧場を訪問する機会を得ましたのでご紹介致します。



田中牧場の皆さん

#### ○牧場概要

飼養頭数は経産牛約150頭、未経産牛約80頭の合計約230頭で、1頭当たりの平均能力は305日2回乳量約9,600kgです。

現在、45ヘクタールの牧草地と15ヘクタールのデントコーン畑を所有しています。労働力は辰雄さんと奥様のまゆみさん、辰雄さんの弟である松原秀雄さんと奥様の正子さん、田中久美子さん、田中育生さん、田中和恵さん、松原卓也さん、従業員の山本俊幸さん、実習生の清水淳也さんの計10人です。辰雄さんは圃場が中心、秀雄さんは牛舎担当と分担して仕事を行なっています。牧場内は、環境整備が整えられており、とても綺麗だったのが印象的でした。

#### ○各地で活躍する「エコファミリー」

鹿追町の渡辺牧場から導入したクイーンランドボンファア エコー アンナ EX-91がこのファミリーのはじまりです。このファミリーは4代VG級でエコー アンナは田中牧場の国産牛で初のEX牛でした。3産目の時にルドルフを交配し、ルドルフ



ジャージー シニア チャンピオン

アンナ エコー VG-85が誕生しました。アンナ エコーは、2000年北海道ホルスタイン ナショナル ショウで1等賞、同年に開催された第11回全日本ホルスタイン共進会で優等賞に入賞しました。田中牧場はアンナ エコーに出会ってから本格的に共進会をはじめました。この頃はダーハムが人気でアンナ エコーにはダーハムを交配し、ダーハム アンナ エコー VG-88が誕生しました。2002年十勝共進会ジュニアチ

ャンピオン、北海道B&Wショウ1位、北海道総合畜産共進会1等賞、全日本B&Wショウジュニアチャンピオンと活躍し、その後は採卵移植によりファミリーを増やし繁栄させていきました。彼女の特徴は、生まれは小さかったがだんだん大きくなり、前駆が高く、肋が良く開張しバランスのとれた牛で、5歳で160cmを超える体高と十分なサイズを備えながら乳用性に優れています。このエコファミリーから、道北の無量谷さんが所有するダーハム アンナ エコー × ゴールドウインは経産で全道出品、中標津の中川さんのダーハム アンナ エコー × ゴールドウインは2008年全道B&Wショウ1位、清水町成松さんのダーハム アンナ エコー × ギブソンは2008年十勝共進会で1等賞と活躍しました。採卵して凍結できない受精卵は地元の人まわしています。自分だけで持ってもファミリーは繁栄しないという考えから、地元の人・実習生などに受精卵を提供してきた結果、全国各地で活躍するようになりました。また、アンナ エコーの一族でダンディーの娘牛は、十勝農協連・全農ETセンター・GHで行なっている「性選別精液による凍結受精卵事業」にも協力していただきブルーブラッドの雌精液で採卵した凍結卵10個は十勝管内で流通しています。

#### ○北海道ホルスタイン

##### ナショナルショウで念願のジュニアチャンピオン獲得!!

同町の大久保さんからOK ダーハム ビスタ VG-89(04-02)を導入し、ゴールドウインを交配してゴールド ダービス ウィン VG-85(写真)が誕生しました。彼女は2007年全道B&Wショウ1位、2007年十勝共進会ジュニアチャンピオン、そして2007年北海道ホルスタインナショナルショウでジュニアチャンピオンに選ばれました。当時は体高156cmでしたが、現在は3歳で172cmと超大型で肢長くスタイリッシュな牛です。間近で見させて頂きましたが、想像以上の高さに驚きました。



ゴールド ダービス ウィン VG-85

**○常に共進会で上位入賞、  
管理上特に気をつけていること**

「重要なことは生まれてから6ヶ月令ぐらいまではよく観察することです。風邪や下痢をしていないか早期発見・早期治療これが1番大切です。発見が半日遅れてしまつては駄目です。風邪や下痢になるとボディコンディションが急激に悪化し、発育面で1ヶ月ぐらいの差がでます。6ヶ月令ぐらいまでは蛋白を多めにして痩せさせないようにします。またファミリーによつても違うのでその牛に合わせて餌を調整していきます。その後は、肉をつけさせないように気をつけ、運動させることも大切です。毎日、屋内の運動機を使って運動させることによつて良く食べ成長していくのです。」

6ヶ月未満の育成牛が飼育されている施設はとても清潔で、4~5ヶ月令に達している牛は毛刈りされており、来年活躍するであろう牛達がのんびりとくつろいでいました。取材で施設を案内していただいている時も秀雄さんは、牛達を見てすぐに体調の悪い牛を見つけて獣医さんを選んでいました。この観察力が素晴らしい牛を育てていくのだ



屋内ラウンダー



哺育・育成舎

と感じました。

**○共進会に参加して感じていることは？**

「共進会は、家族の応援、先輩・後輩・友達や、関係機関の方からのアドバイスがあつてこそ上位入賞ができると思つています。仲間を大事にしてみんなと情報交換をしています。共進会で負けた時は、負けたことを認めて次の課題を考えます。自分の牛を良く理解し、どうして負けたのかを考え研究し、飼い方を考えることで次につながっていくのです。」

反省し、楽しくやっていきたい。若い人を教育して育ていくことも大事です。」と松原さんは語ります。

清水町は共進会の出品頭数も多く上位入賞していますが、秀雄さんのようなリーダーがいるからこそ地域で協力しあい強い清水町を作り上げているのでしょう。

**○今年はGHの種雄牛の娘が共進会で活躍しています。**

**この牛達についての特徴は？**

2009年清水スプリングショウ・十勝B&Wショウでは、ブルーブラットとバレットの娘を出品されてきました(写真)。

松原氏談「ブルーブラットは、ポルトンと異父兄弟という事と、GHの十勝清水種雄牛センターに訪れた時ちょうど本牛を見ることが出来たので興味を持って使っていました。また、能力・体型とバランスのとれた良い牛であり、生まれた娘牛は、サイズは大きく、骨のしまりが良いのが特徴です。」

またTMF バレット レディ カー



ブルーブラッド娘牛



ブルーブラッド娘牛

メイト(写真)はバレットの娘牛で、2008年ウインターフェアー1位、2009年清水スプリングショウ1位、2009年十勝B&Wショウでリザーブジュニアチャンピオン、2009年北海道B&Wショウ4位と大活躍しております。

「このファミリーの由来は輸入牛で、バレット レディの祖母を十勝の輸入牛セールで購入しました。乳用性があり肋の充実したバレット レディは生まれながら大きく、足が長くとても素直でおとなしい牛です。」松原氏談。



バレット レディ カーメイト

**○国産種雄牛に期待することは？**

「ブルーブラットやバレットのように体型・能力のバランスのとれた種雄牛を使いたいと思つています。日本で活躍しているファミリーから種雄牛をどんどん作っていつて欲しいですね。」

**○今後の目標・課題は？**

「これからの課題は、もう少し能力を上げて長持ちする牛群をつくりたいです。肢蹄と乳器の改良に力を入れて、たとえ小さい牛でも乳器の素晴らしい牛を求めたいと思います。また、乳を搾らないと収入にならないので乳量の出る牛を飼いたいです。今後の目標は乳房が良い魅力的な牛をつくり経産牛で最高位を取りたいですね。」

**○最後に**

この度は牛舎を増築し常時150頭搾れるようになり、また、和恵さんとご結婚された育生さんも牧場のスタッフとして加わって、更なるご活躍が期待される(有)田中牧場を紹介いたしました。ご多忙中にもかかわらず快く取材に対応してくださった秀雄さん、ご家族の方々に感謝申し上げますとともに、(有)田中牧場の今後の益々のご発展を祈念いたします。

(十勝北見事業所 井上 典子)



# シヨウ ニュース ジエスロの娘牛が 春の北海道最大のシヨウで大活躍!!



2009年北海道B&Wシヨウ  
グランドチャンピオン&  
シニアチャンピオン  
(5歳・成年クラス1位・ベスト  
アダーおよび  
シニアゲッツオブサイア  
クラス1位のメンバー)  
平成21年根室 B&Wシヨウ  
グランドチャンピオン  
(シニアおよび  
アダーチャンピオン)

マウントエース  
ロイレーン カイト  
91.0(5歳)  
出品:別海町 安部 克寿氏



2008年北海道ホルスタインナショナルシヨウ  
5歳クラス1頭賞2席  
2008年根室地区共進会  
シニア&グランドチャンピオン

2007年根室B&Wシヨウ  
準シニア&準グランドチャンピオン  
およびベストアダーチャンピオン

